

貧困・困窮者の「絆」再生事業(概要図)

地域で支援活動を行っている **NPOと協働**して、路上生活者だけでなく地域で孤立している **生活困窮者**(ネットカフェ難民、ニート等)に対し、**個別かつ継続的な支援**の要素を新たに加え総合的な支援システムを構築

地域社会との「絆」の再生

課題

- ・安心できる居場所の確保
- ・信頼できる相談相手の確保
- ・ともに歩める仲間の確保

信頼、安心の回復

生活基盤の確立

新たな支援者

民間のノウハウを活用

NPO等支援団体

関係機関、地域コミュニティーにもアウトリーチ連携強化

路上生活者 + 生活困窮者

支援方法

日常生活の様々な問題に対しきめ細やかな支援

個別かつ継続的な支援

適切なアセスメントの確立

行政だけでは担えない部分も支援

地域の一員として
尊厳のある生活へ！

路上化予防・再路上化防止

地域生活への
復帰！

社会的・経済的自立

生活・居住セーフティネット
支援事業

生活費や債務整理費用などの支援(融資)

金銭的支援(融資)

貧困・困窮者の「絆」再生事業(新旧対象表)

旧施策

新施策(充実拡大)

路上生活者

対象者

社会的**生活困窮者**（ネットカフェ難民、ニートなど）を新たに追加

シェルター設置等
自治体主導の事業

実施
方法

地域の実情に応じて、**NPO等民間
支援団体**のノウハウも活用

施設における短期
的支援

支援
方法

社会的生活を送るための長期にわたる**継続的かつ包括的
伴走型支援**

路上からの脱却

事業
目的

路上化の**未然防止**
継続的支援による**再路上化の防止**

地域社会との“絆”の再生

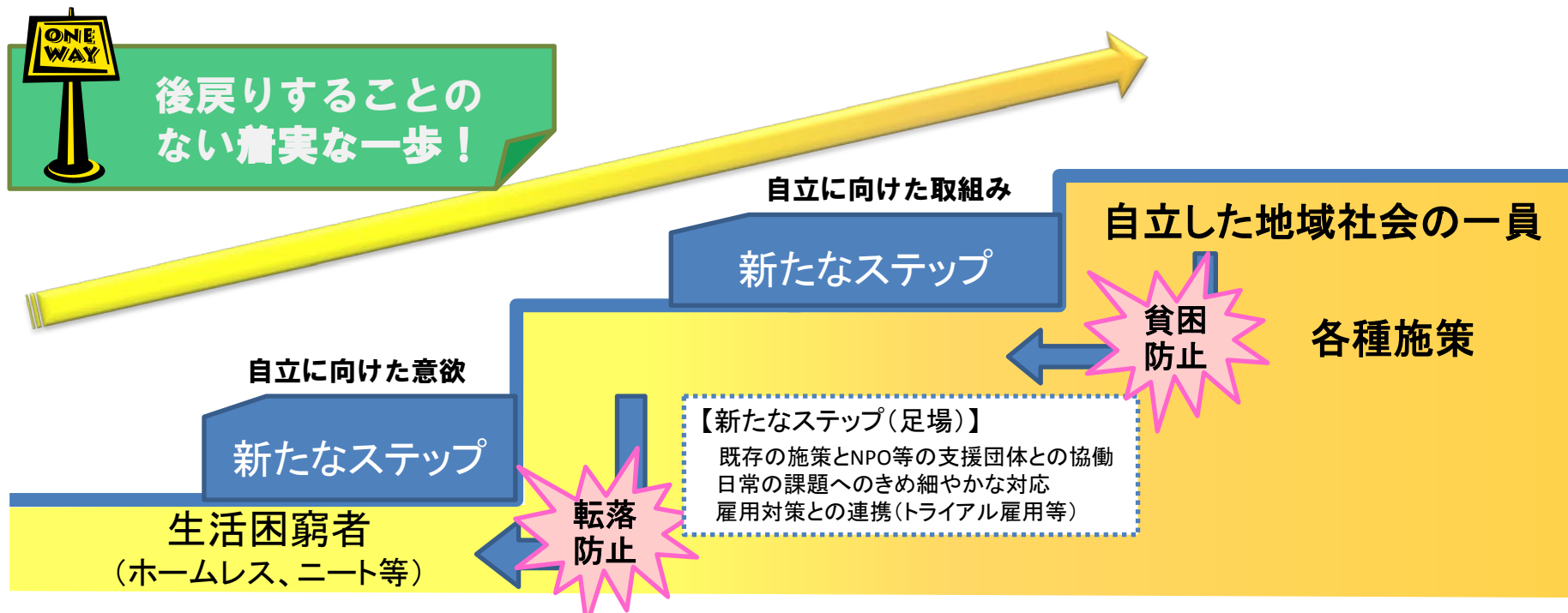
NPO等の雇用機会の拡大、生活保護費の削減などの経済効果が見込まれる。
救急医療費の節約、公園等環境資源の有効活用が期待される。

効果

貧困・困窮者の「絆」再生事業(イメージ図)

路上生活から地域のステージへ戻るにあたっては**高い段差(障壁)**がある。
その段差を解消するための**新しいステップ(足場)**を新設(直ちに路上化する事も同時に防止)することで**スムーズな自立**を図る。

拒否・不安 → 信頼・安心 → 自信・回復 → 自立



「住居」+「食事」の現物提供

金銭的な支援

就労・自立生活

生活・居住セーフティネット支援事業

伴走者の配置 → 自立阻害要因を把握
ステージを通した**個別かつ継続的支援**